
平成28年度事業報告書

目 次

平成28年度事業報告書

| | |
|----------------------------|----|
| I 事業報告 | 1 |
| 1. 技術部会事業の活動概要 | 1 |
| 1.1 光センシング技術部会事業 | 1 |
| 1.2 デジタル・イメージング技術部会事業 | 1 |
| 1.3 光部品生産技術部会事業 | 2 |
| 1.4 光学系設計技術部会事業 | 3 |
| 1.5 フォトンテクノロジー技術部会事業 | 4 |
| 2. 人材育成事業 | 4 |
| 2.1 技術研修会事業 | 4 |
| 2.2 技術講座事業 | 5 |
| 2.3 公開セミナー事業 | 8 |
| 2.4 日本眼光学学会との共催セミナー事業 | 9 |
| 2.5 研修会・技術講座、セミナー用教本等の作成事業 | 9 |
| 3. 広報・図書・資料出版 | 10 |
| 3.1 月刊誌事業 | 10 |
| 3.2 図書出版事業 | 10 |
| 4. 情報の提供 | 10 |
| 5. 協会事業の活性化への取り組み | 10 |
| 5.1 人材育成事業の充実 | 10 |
| 5.2 協会PR活動の充実 | 11 |
| 5.3 技術部会の活性化 | 11 |
| 6. その他の事業 | 11 |
| 6.1 協賛 | 11 |
| 6.2 全国光学工業厚生年金基金解散問題 | 14 |

| | |
|-------------------|----|
| Ⅱ 会務報告 | 15 |
| 1. 会員 | 15 |
| 1.1 会員の異動 | 15 |
| 1.2 平成29年3月31日会員数 | 15 |
| 2. 役員 | 15 |
| 3. 顧問 | 15 |
| 4. 協会事務局体制の現況 | 16 |
| 5. 会議 | 16 |
| 5.1 定時社員総会 | 16 |
| 5.2 理事会 | 16 |
| 5.3 企画運営委員会 | 16 |
| 5.4 財務運営委員会 | 17 |
| 5.5 人材育成委員会等 | 17 |
| 5.6 技術広報委員会 | 18 |
| 6. 平成28年度事業実施状況 | 20 |

平成28年度事業報告書

I 事業報告

1. 技術部会の活動概要（継続事業）

各技術部会の講演は時宜にかなったテーマを選定して、斯界の代表的有識者である講師を招いて実施をした。

1.1 光センシング技術部会事業

本年度は主に光波を用いたセンシング制御技術、ナノからサブナノへ向かう光計測技術、ディスプレイ技術の動向に関する講演会及び研修・講演会を行った。また、部会員より希望するテーマの講演要請があり、幹事会で企画立案を行った他、部会員が抱えている技術的問題点を取り上げ討議し、開発実務者の技術交流の場とした。

部会長 松本弘一（東京大学 大学院工学系研究科 精密工学専攻 特任研究員）

副部長 増田浩二（リコー 画像エンジン開発本部 ICT開発センター OM開発室
SV_OMグループ リーダー）

当技術部会において開催した研究会テーマ及び講師は、次の通りである。

第1回（6月10日(金)開催） 参加者：13名（8社）

講演：口径30mの光学赤外線・次世代超大型天体望遠鏡

講師：早野 裕（国立天文台）

第2回（9月20日(火)開催） 参加者：10名（9社）

研修先：防衛大学校 電気情報学群 通信工学科 高橋研究室

研修内容：レーザープロセッシング、レーダ、光ファイバセンサ／資料館、学生会館、学校内施設

講演：防衛大学校における光ファイバセンサの開発

講師：高橋信明（防衛大学校）

第3回（12月22日(木)開催） 参加者：5名（5社）

① 講演：IoTものづくり スマートマニファクチャリングの実現にむけて

講師：加納誠介（産業技術総合研究所）

② 講演：可視光通信技術と移動体通信への応用

講師：大柴小枝子（京都工芸繊維大学）

第4回（2月28日(火)開催） 参加者：7名（6社）

講演：超解像光学顕微鏡の原理と応用

講師：藤田克昌（大阪大学）

話題提供：量子カスケードレーザーとその応用

提供者：杉山厚志（浜松ホトニクス）

1.2 デジタル・イメージング技術部会事業

本年度は昨年同様に部会員及び部会参加者を対象にアンケート調査を実施して、部会員らの共通する技術領域を探り、入力機器及び出力機器に関する技術動向の講演会及び研修・講演会を実施した。

部 会 長 津村徳道 (千葉大学 大学院融合科学研究科 准教授)

副 部 会 長 銚井逸人 (ニコン 映像事業部 開発統括部 第2システム設計部

第3設計課 主幹研究員)

当技術部会において開催した研究会テーマ及び講師は、次の通りである。

第1回 (4月11日(月)開催) 参加者: 21名 (6社)

- ① 講 演: 赤外線イメージセンサの自動車安全補助装置への応用
講 師: 木股雅章 (立命館大学)
 - ② 講 演: 車載カメラの現状と、今後の展開
講 師: 中條博則 (共創企画)
- ※ 光部品生産技術部会との合同講演会

第2回 (7月5日(火)開催) 参加者: 5名 (2社)

研 修 先: 千葉大学 大学院融合科学研究科 津村研究室

研 修 内 容: 肌グループ、質感グループ、画質グループ、医工学グループ

- ① 講 演: 嗜好性被写体の推定に基づく自動撮影システムに関する研究
講 師: 津村徳道 (千葉大学)
- ② 講 演: 5バンド皮膚画像からの光散乱非線形成分推定手法によるメラニン濃度, 血液濃度,
酸素飽和度, 陰影, 表面反射成分画像の分離
講 師: 津村徳道 (千葉大学)

第3回 (12月1日(木)開催) 参加者: 20名 (7社)

- ① 講 演: 自動運転技術の最新動向
講 師: 二宮芳樹 (名古屋大学)
- ② 講 演: 自動運転のためのセンシング・情報処理技術
講 師: 伊東敏夫 (芝浦工業大学)

第4回 (3月7日(火)開催) 参加者: 10名 (6社)

- ① 講 演: 幻の大絵馬は白黒写真から いかによみがえったか
講 師: 木下 悠 (凸版印刷)
- ② 講 演: 文化財の保存・修復・復元 -その主体とメディア-
講 師: 平 諭一郎 (東京藝術大学)

1.3 光部品生産技術部会事業

本年度は主に光部品の微細加工技術、精密加工方法、生産技術に関する講演会及び研修・講演会を実施したほか、生産技術・開発実務者の技術交流の場とした。

部 会 長 土肥俊郎 (九州大学 グローバルイノベーションセンター

KOINEプロジェクト 特任教授)

副 部 会 長 金岡政彦 (栃木ニコン 生産技術部 第一生産技術課 主任研究員)

当技術部会において開催した研究会テーマ及び講師は、次の通りである。

第1回 (4月11日(月)開催) 参加者: 30名 (16社)

- ① 講 演: 赤外線イメージセンサの自動車安全補助装置への応用
講 師: 木股雅章 (立命館大学)
 - ② 講 演: 車載カメラの現状と、今後の展開
講 師: 中條博則 (共創企画)
- ※ デジタル・イメージング技術部会との合同講演会

第2回 (7月26日(火)開催) 参加者: 8名 (5社)

- ① 講演：電界誘起気泡による機能創発
講師：山西陽子（九州大学）
- ② 講演：真球状微粒子のキャラクタリゼーションとオプトメカトロニクス分野への応用紹介
講師：山田美幸（アドマテックス）

第3回（11月 1日(火)開催） 参加者：10名（4社）

研修先：三鷹光器

研修内容：スペースシャトル搭載高感度テレビカメラ、非接触三次元測定装置、脳外科用手術顕微鏡、工場施設

講演：非球面レンズ、ミラーの非接触表面形状測定技術
－大型望遠鏡ミラーからマイクロレンズまで－

講師：三浦勝弘（三鷹光器）

第4回（ 1月23日(月)開催） 参加者：9名（5社）

- ① 講演：表面プラズモンとメタマテリアルの最近の話題

講師：梶川浩太郎（東京工業大学）

- ② 講演：製品設計の未来を切り拓くマルチスケールテクノロジー

講師：山崎美稀（日立製作所）

第1回幹事会（ 1月23日(月)開催）

平成29年度の部会運営について討議した。

1.4 光学系設計技術部会事業

光学系の設計及び周辺技術についての基礎的テーマ、トピカルな話題等を取り上げて講演会及び研修・講演会を実施したほか、光学設計・開発実務者の技術交流の場とした。

部会長 草川 徹（草川光学研究所 所長）

副会長 加藤 茂（オリンパス 光学システム開発3部 部長）

当技術部会において開催した研究会テーマ及び講師は、次の通りである。

第1回（ 6月30日(木)開催） 参加者：13名（9社）

- ① 講演：波面光学と眼内レンズ

講師：大沼一彦（千葉大学）

- ② 講演：ヘッドランプの進化とADB（アダプティブ・ドライビング・ビーム）ヘッドランプの技術

講師：小池輝夫（スタンレー電気）

第2回（10月11日(火)開催） 参加者：10名（6社）

研修先：NHK放送技術研究所

研修内容：SHV放送家庭視聴イメージ展示（8Kリビングシアター ～試験放送～）、8K小型カメラ（60Hz/120Hz映像比較）、インテグラル立体テレビ、ハイブリッドキャスト

第3回（12月16日(金)開催） 参加者：15名（10社）

- ① 講演：自動設計アルゴリズムとレンズ設計

講師：西畑純弘（西畑光学設計）

- ② 講演：M.ZUIKO DIGITAL ED 300mm F4.0 IS PROの開発

講師：西村和也（オリンパス）

第1回幹事会（1月31日(火)開催）

平成29年度の部会運営について討議した。

第4回（3月13日(月)開催） 参加者：23名（12社）

- ① 講演：光学用赤外線透過性材料とレンズ設計、活用について
講師：安藤 稔（タムロン）
- ② 講演：魚眼レンズの設計や画像シミュレーションおよび、光学系における熱の影響の解析
講師：秋山健志（サイバネットシステム）

1.5 フォトンテクノロジー技術部会事業

フォトンを利用した先端技術及びその周辺・要素技術に関する講演会及び研修・講演会と調査を実施した他、部会員が抱えている技術的問題点を取り上げ討議し、開発実務者の技術交流の場とした。

部会長 植田憲一（電気通信大学 企画調査室 レーザー新世代研究センター 特任教授）

副部長 須田篤史（日本航空電子工業 商品開発センター 技術マネージャー）

当技術部会において開催した研究会テーマ及び講師は、次の通りである。

第1回（6月15日(水)開催） 参加者：14名（8社）

- ① 講演：8K超高精細映像技術と内視鏡手術への応用
講師：谷岡健吉（メディカル・イメージング・コンソーシアム）
- ② 講演：液晶光学素子のバイオイメージング応用
講師：橋本信幸（シチズンホールディングス）

第2回（9月6日(火)開催） 参加者：9名（8社）

研修先：国立天文台 三鷹キャンパス

研修内容：レーザー干渉計型重力波検出器 TAMA300、展示室

講演：次世代30m望遠鏡TMT計画について

講師：家 正則（国立天文台）

第3回（12月6日(火)開催） 参加者：6名（5社）

- ① 講演：我が国発技術で不整脈レーザー治療器の開発に挑む
講師：荒井恒憲（慶應義塾大学）
- ② 講演：固体レーザーの医療への応用と医療用レーザーの世界市場
講師：水出直子（New Source Technology）

第4回（3月10日(金)開催） 参加者：8名（6社）

講演：表面活性化手法による接合界面創成技術

講師：須賀唯知（東京大学）

- ① 話題提供：日本にはない光学技術、米国NIFにおける循環的光学部品サイクルシステム
提供者：植田憲一（電気通信大学）
- ② 話題提供：GCIB（Gas Cluster Ion Beam）技術を応用したANAB技術の紹介
提供者：花園勝巳（アールエムテック）

2. 人材育成事業（継続事業）

主として企業の技術者を対象に、技術研修会および技術講座を実施した。

2.1 技術研修会事業

2016 光応用技術研修会

開催日：講 義 5月31日(火)～6月3日(金)、6日(月)～8日(水)

計7日開催

開催日：テスト 7月7日(木)～8日(金) 計2日開催
会場：機械振興会館 地下3階 研修2号室（東京都港区芝公園3-5-8）
参加者：講義の部 70名（**予算定員：56名**）（20社）、試験の部 63名（18社）
研修科目：25科目

「光学入門、幾何光学」、「色彩工学」、「干渉と回折」、「結像の評価とOTF」、「測光」、「レーザー」、「LEDの発光特性」、「目視観察用光学機器」、「事務機器」、「デジタルカメラと内視鏡」、「天体望遠鏡と補償光学」、「光ファイバ」、「3D技術」、「デジタル映像システム」、「光記録」、「デジタルカメラの画像処理」、「コンピュータシミュレーション」、「光散乱」、「医用画像」、「光計測：干渉計測技術の基礎と応用」、「光学部品加工」、「光学薄膜」、「光学ガラス」、「光学プラスチック」、特別講演「医用画像と医工学連携」

2.2 技術講座事業

(1) デジタル画像基礎技術 【復活】

（協賛：応用物理学会、日本光学会、電子情報通信学会、映像メディア学会、カメラ映像機器工業会、日本写真学会、画像電子学会、日本印刷学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）

開催日：4月21日(木)～22日(金) 計2日開催
会場：当協会研修室
講師：小寺宏暉
テキスト：「デジタル画像基礎技術」（JOEM刊）
参加者：7名（**予算定員：8名**）（5社）

(2) よくわかる 図解カメラのしくみ 【復活】

（協賛：日本光学会、日本光学工業協会、日本写真学会、画像電子学会、日本印刷学会、日本画像学会、カメラ映像機器工業会、日本写真映像用品工業会）

開催日：6月17日(金) 1日開催
会場：当協会研修室
講師：豊田堅二
テキスト：「よくわかる 図解カメラのしくみ」（JOEM刊）
参加者：10名（**予算定員：8名**）（7社）

(3) 相関とフーリエ変換で理解できる光学機器 ——見関連の無い機器たちの統一的理解——

（協賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）

開催日：6月29日(水) 1日開催
会場：当協会研修室
講師：志村 努
テキスト：「相関とフーリエ変換で理解できる光学機器」（JOEM刊）
参加者：26名（**予算定員：15名**）（13社）

(4) よくわかる LEDと半導体レーザーの基礎と応用

（協賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）

開催日：7月13日(水) 1日開催
会場：当協会研修室
講師：波多腰玄一
テキスト：「よくわかる LEDと半導体レーザーの基礎と応用」（JOEM刊）
参加者：17名（**予算定員：9名**）（12社）

(5) レンズ設計法 【講師1名交代】

（協賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）

開催日：7月20日(水)～21日(木) 計2日開催
会場：当協会研修室
講師：中川治平、牛山善太、松岡和雄、金井守康、阿部勝行、草川 徹
テキスト：「レンズ設計法」(JOEM刊)
参加者：23名(予算定員：10名)(13社)

(6) 図解による波動光学入門 一波としての光の働きとその応用— 【本年度新設】

(協賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会)
開催日：7月22日(金) 1日開催
会場：当協会研修室
講師：槌田博文
テキスト：「図解による波動光学入門」(JOEM刊)
参加者：7名(予算定員：15名)(6社)

(7) コンピュータショナルイメージング 【本年度新設】

(協賛：応用物理学会、日本光学会、電子情報通信学会、日本写真学会、画像電子学会、日本印刷学会、日本画像学会、映像情報メディア学会、カメラ映像機器工業会、照明学会、日本色彩学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会)
開催日：9月9日(金) 1日開催
会場：機械振興会館 1階2号室
講師：谷田 純
テキスト：「コンピュータショナルイメージング」(JOEM刊)
参加者：36名(予算定員：13名)(16社)

(8) 収差論(“偏心光学系の3次の収差論”を含む)

(協賛：日本光学会、日本光学工業協会)
開催日：10月5日(水)～12月14日(水) 計6日開催
会場：当協会研修室
講師：荒木敬介
テキスト：「収差論／偏心の存在する光学系の3次の収差論」(JOEM刊)
参加者：15名(予算定員：9名)(10社)

(9) 図解による光学入門

(協賛：応用物理学会、日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会、電子情報通信学会、日本写真学会、画像電子学会、日本印刷学会、日本画像学会、映像情報メディア学会、照明学会、精密工学会)
開催日：10月6日(木)～7日(金) 計2日開催
会場：当協会研修室
講師：齋藤晴司
テキスト：「図解による光学入門」(JOEM刊)
参加者：22名(予算定員：18名)(16社)

(10) 光学素子加工技術入門 【リニューアル】

(協賛：日本光学会、精密工学会、日本光学工業協会、ニューガラスフォーラム、砥粒加工学会)
開催日：10月25日(火)～27日(木) 計3日開催
会場：当協会研修室
講師：白井 健、立和名一雄、三原伸一、沼野一三、元山いづみ、小久保光典、竹内博之、瀬田 誠、北條雅貴、柳沢 剛
テキスト：「光学素子加工技術入門」(JOEM刊)

参加者：25名（予算定員：12名）（17社）

(11) ズームレンズ設計法

（協賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）

開催日：11月14日(月)～15日(火)

計2日開催

会場：当協会研修室

講師：福島 省

テキスト：「ズームレンズ設計法」(JOEM刊)

参加者：12名（予算定員：10名）（7社）

(12) 光散乱の現象と解析

（協賛：応用物理学会、日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）

開催日：11月17日(木)

1日開催

会場：機械振興会館 6階 6D-3号室

講師：岩井俊昭

テキスト：「光散乱の現象と解析」(JOEM刊)

参加者：34名（予算定員：15名）（18社）

(13) 光学薄膜技術

（協賛：応用物理学会、日本光学会、精密工学会、電子情報通信学会、日本光学工業協会、光学薄膜研究会、光産業技術振興協会）

開催日：12月 7日(水)～8日(木)

計2日開催

会場：当協会研修室

講師：秋山貴之、生水利明、青木智則、臼井 巖

テキスト：「光学薄膜技術」(JOEM刊)

参加者：17名（予算定員：13名）（13社）

(14) 色彩工学 —その基礎と実用的応用—

（協賛：日本光学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会、カメラ映像機器工業会、日本写真学会、画像電子学会、日本印刷学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会、照明学会、日本画像学会、日本色彩学会）

開催日：12月13日(火)

1日開催

会場：当協会研修室

講師：大田 登

テキスト：「色彩工学」(JOEM刊)

参加者：19名（予算定員：10名）（12社）

(15) 偏心光学系の3次の収差論

（協賛：日本光学会、日本光学工業協会）

開催日：12月14日(水)

1日開催

会場：当協会研修室

講師：荒木敬介

テキスト：「偏心の存在する光学系の3次の収差論」(JOEM刊)

参加者：15名（予算定員：10名）（10社）

(16) 光学系基礎理論

（協賛：日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）

開催日：1月11日(水)～2月 1日(水)

計4日開催

会場：当協会研修室

講師：荒木敬介

テキスト：「結像光学入門」（JOEM刊）
参加者：17名（**予算定員：10名**）（12社）

(17) 現代干渉計測入門

（協賛：応用物理学会、日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）
開催日：1月13日(金) 1日開催
会場：当協会研修室
講師：武田光夫
テキスト：「干渉計測入門」（JOEM刊）
参加者：23名（**予算定員：11名**）（14社）

(18) 図解による顕微鏡入門

（協賛：日本光学会、日本生物物理学会、日本組織細胞化学会、日本バイオイメージング学会、日本発生生物学会、日本病理学会、日本顕微鏡学会、日本顕微鏡工業会、光産業技術振興協会、日本光学工業協会）
開催日：1月24日(火) 1日開催
会場：当協会研修室
講師：阿部勝行、西脇大介、辻元公毅、松為久美子、中田千枝子
テキスト：「図解による顕微鏡入門」（JOEM刊）
参加者：17名（**予算定員：13名**）（11社）

(19) デジタルカラー画像の解析・評価

（協賛：応用物理学会、日本光学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会、カメラ映像機器工業会、日本写真学会、日本画像学会、画像電子学会、日本印刷学会、日本光学工業協会、照明学会、日本色彩学会、光産業技術振興協会）
開催日：2月2日(木)～3日(金) 計2日開催
会場：当協会研修室
講師：三宅洋一
テキスト：「デジタルカラー画像の解析・評価」（JOEM刊）
参加者：13名（**予算定員：8名**）（10社）

(20) ナノ領域の光学入門 【名称変更】

（協賛：応用物理学会、日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会）
開催日：2月23日(木) 1日開催
会場：当協会研修室
講師：岩本 敏、田中拓男、馬場俊彦、菊田久雄、田丸博晴
テキスト：「ナノ領域の光学入門」（JOEM刊）
参加者：17名（**予算定員：10名**）（14社）

2.3 公開セミナー事業

(1) 奥行き知覚と立体表示 ―視覚心理の応用技術を深めるために― （本年度企画）

（協賛：応用物理学会、日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会、映像情報メディア学会、電子情報通信学会、精密工学会、照明学会、画像電子学会、日本写真学会、日本画像学会、日本印刷学会、三次元映像のフォーラム）
開催日：10月20日(木) 1日開催
会場：機械振興会館 地下3階6号室
講師：半田知也、一川 誠、桑山哲郎、高木康博
テキスト：「奥行き知覚と立体表示」（JOEM刊）
参加者：36名（**予算定員：20名**）（26社）

(2) 自動運転を支える画像と認識の技術 (本年度企画)

(協賛：応用物理学会、日本光学会、日本光学工業協会、光産業技術振興協会、映像情報メディア学会、電子情報通信学会、照明学会、画像電子学会、日本画像学会、日本赤外線学会)

開催日：1月20日(金)

1日開催

会場：機械振興会館 地下3階2号室

講師：青木啓二、木股雅章、中條博則

テキスト：「自動運転を支える画像と認識の技術」(JOEM刊)

参加者：17名 **(予算定員：20名)** (12社)

2.4 日本眼光学学会との共催セミナー事業

「2016 眼光学チュートリアルセミナー」(リニューアル)【講演15テーマ】

開催日：8月6日(土)～7日(日)

計2日開催

会場：機械振興会館 地下2階ホール

参加者：114名 **(予算定員：120名)** (83社)

2.5 研修会・技術講座、セミナー用教本等の作成事業

(1)「2016 光応用技術研修会」テキスト

(2)「デジタル画像基礎技術」技術講座テキスト

(3)「よくわかる 図解カメラのしくみ」技術講座テキスト

(4)「相関とフーリエ変換で理解できる光学機器」技術講座テキスト

(5)「よくわかる LEDと半導体レーザーの基礎と応用」技術講座テキスト

(6)「レンズ設計法」技術講座テキスト

(7)「図解による波動光学入門」技術講座テキスト

(8)「コンピューテーショナルイメージング」技術講座テキスト

(9)「図解による光学入門」技術講座テキスト

(10)「光学素子加工技術入門」技術講座テキスト

(11)「ズームレンズ設計法」技術講座テキスト

(12)「光散乱の現象と解析」技術講座テキスト

(13)「光学薄膜技術」技術講座テキスト

(14)「色彩工学」技術講座テキスト

(15)「現代干渉計測入門」技術講座

(16)「図解による顕微鏡入門」技術講座

(17)「デジタルカラー画像の解析・評価」技術講座テキスト

- (18) 「ナノ領域の光学入門」 技術講座テキスト
- (19) 「奥行き知覚と立体表示」 公開セミナーテキスト
- (20) 「自動運転を支える画像と認識の技術」 公開セミナーテキスト
- (21) 「2016 眼光学チュートリアルセミナー」 テキスト
- (22) 「2016 光応用技術研修会」 報告書&模範解答集

3. 広報・図書・資料出版（継続事業）

次の月刊誌、調査報告書、図書を発行した。

3.1 月刊誌事業

「光技術コンタクト」

Vol.54 No.4 ~ Vo1.55 No.3 12冊

3.2 図書出版事業

- (1) 「幾何光学Ⅱ」（山田幸五郎著）
- (2) 「結像光学入門」（松居吉哉著）
- (3) 「収差論」（松居吉哉著）
- (4) 「偏心光学系の3次の収差論」（松居吉哉著）
- (5) 「光機器の光学Ⅰ・Ⅱ」（早水良定著）
- (6) その他

4. 情報の提供

当協会 で得た情報及び資料について、会員に提供し、または閲覧に供した。

5. 協会事業の活性化への取り組み

協会を取り巻く社会情勢、環境の変化に対応した適切な事業を実施するとともに、協会事業を活性化し魅力あるものにするために下記の取り組みを行った。

5.1 人材育成事業の充実

技術研修会及び技術講座の設置、改善については、人材育成委員会、各研修会の実行委員会、関連する技術部会等で検討を行った。

平成 28 年度は下記のとおりである。

- ・「図解による波動光学入門」技術講座を新設
- ・「コンピューテーショナルイメージング」技術講座を新設
- ・「光学素子加工技術入門」技術講座をリニューアル

- ・「デジタル画像基礎技術」技術講座を復活開催
- ・「よくわかる 図解カメラのしくみ」技術講座を復活開催
- ・「奥行き知覚と立体表示」公開セミナーを企画
- ・「自動運転を支える画像と認識の技術」公開セミナーを企画
- ・今後の新設講座等の検討

5.2 協会 PR 活動の充実

(1) 会員への協会活動の周知方法

会員情報のデータベース化により、情報発信の迅速化、効率化を図った。

(2) 協会パンフレットおよび光技術コンタクト誌等の配布

協会会議室に協会パンフレットおよび光技術コンタクト誌を設置し、来場した受講生等に案内をして協会活動のより広範囲な浸透に努めた。

(3) 関係学会・協会等での PR

- ・「レンズ設計・製造展 2016 (OPIE' 16)」(パシフィコ横浜)に出展をして、協会活動の PR をするとともに、来場者に協会パンフレット、入会申込書、光技術コンタクト誌、各種技術講座パンフレットを配布した。
- ・「UJO サロン (光学技術者の集い)」(板橋区立グリーンホール)の会場にて、協会パンフレット、入会申込書、光技術コンタクト誌、各種技術講座パンフレットを配布した。
- ・新たな試みとして「ISOT (International Symposium on Optomechatronic Technology)」国際会議の会場(板橋区立文化会館)にて、協会パンフレット、入会申込書、光技術コンタクト誌、各種技術講座パンフレットを配布した。
- ・「CAMERA & PHOTO IMAGING SHOW 2017」展示会(パシフィコ横浜)の協賛ブースにおいて、協会パンフレット、光技術コンタクト誌を来場者に配布した。
- ・人材育成事業の案内を、光産業技術振興協会、日本光学会、オプトロニクス社の其々の会員宛にメール配信していただいた。
- ・各技術講座の協賛団体を確認した上で、更に関連性のある団体に協賛依頼をして積極的に PR を行った。

(4) ホームページの充実

時宜に適った情報を可能な限り早く伝えるよう更新作業に努めた。

5.3 技術部会の活性化

(1) 部会メンバーから比較的要望が高い、企業の開発実務者の講演の実施に努めた。

(2) 部会メンバーの持ち回りによる話題提供を実施し、意見および情報交換を行い技術交流の場とした。

(3) 部会メンバーに有益と思われる最近のトピックスをサーチして、講演会を実施した。

(4) 更なる活性化の方策として、部会活動の新分野への可能性について検討した。

6. その他の事業

6.1 協 賛

オプトメカトロニクス産業の振興に資するため、本協会と同じ目的を持つ 次その他団体等の事業に協賛を行った。

(1) 久保田ホログラム工房

「光を扱う研究者・技術者のための技術実習 ～レーザーと光学部品の取り

扱い、および光学系組み立てのポイントとノウハウ～」

開催日：平成28年4月1日から随時受付け

於：京都工芸繊維大学インキュベーションセンター内

- (2) 一般社団法人レーザー学会，特定非営利活動法人日本フォトンクス協議会，
一般社団法人メディカル・イメージング・コンソーシアム

「OPTICS & PHOTONICS International Exhibition 2016 (OPIE'16)」

開催日：平成28年5月18日～20日

於：パシフィコ横浜

- (3) 公益社団法人精密工学会

「第380回講習会「これでわかる最新の情報化技術

－Industrie4.0・人工知能・ビッグデータ・ユビキタス－」

開催日：平成28年6月10日

於：上智大学 四ツ谷キャンパス

- (4) 公益社団法人応用物理学会 光波センシング技術研究会

「第57回光波センシング技術研究会

－光ファイバセンシング技術の最前線－」

開催日：平成28年6月14日～15日

於：東京理科大学 神楽坂キャンパス 森戸記念館

- (5) 一般社団法人 日本光学会

「第41回光学シンポジウム」

開催日：平成28年6月23日～24日

於：東京大学 生産技術研究所 An棟コンベンションホール

- (6) 公益社団法人精密工学会

「第381回講習会 見学付き基礎講座「レーザ微細加工の基礎から最新技術まで」

開催日：平成28年7月25日

於：三菱電機株式会社 東日本メカトロソリューションセンター

- (7) 公益社団法人精密工学会

「第382回講習会 あなたの英語に革命が!!

－日本語から叩き直す英語講座－」

開催日：平成28年8月30日

於：東京理科大学 森戸記念館

- (8) 公益社団法人砥粒加工学会

「2016年 砥粒加工学会学術講演会 (ABTEC2016)」

開催日：平成28年8月31日～9月2日

於：兵庫県立大学 姫路環境人間キャンパス

- (9) レーザ顕微鏡研究会

「The 14th International Conference on Near-Field Optics, Nanophotonics, and
Related Techniques (NFO-14)」

開催日：平成28年9月4日～8日

於：アクトシティ浜松 コンgressセンター

- (10) 一般社団法人日本自動認識システム協会

- 「第18回自動認識総合展」
開催日：平成28年9月14日～16日
於：東京国際展示場（東京ビックサイト）
- (11) 一般社団法人日本光学会 光設計研究グループ
「第60回研究会 パーチャルリアリティとウェアラブル」
開催日：平成28年10月21日
於：板橋区立グリーンホール
- (12) 公益社団法人精密工学会 & 公益財団法人精密測定技術振興財団
「第383回講習会 基礎講座「画像処理技術
－パターン認識からディープラーニングまで－」」
開催日：平成28年10月28日
於：中央大学 後楽園キャンパス
- (13) 一般社団法人 日本光学会
「Optics & Photonics Japan 2016」
開催日：平成28年10月30日～11月2日
於：筑波大学 東京キャンパス文京校舎
- (14) 一般社団法人日本写真学会
「平成28年度 画像保存セミナー」
開催日：平成28年11月2日
於：東京都写真美術館ホール
- (15) ISOT運営委員会（ISOT steering committee）
「オプトメカトロニクス国際会議 ISOT2016」
開催日：平成28年11月7日～9日
於：東京都板橋区文化会館
- (16) 一般社団法人 日本写真学会
「第24回カメラ技術セミナー」
開催日：平成28年11月17日
於：国立オリンピック記念青少年総合センター
- (17) 公益社団法人精密工学会
「第384回講習会 第24回最先端の研究室（工場）
「ぶらり技術さんぽ ー品川区中小企業めぐりー」」
開催日：平成28年11月25日
於：三ツ矢，新栄スクリーン
- (18) 公益社団法人精密工学会
「第385回講習会 工作機械とIoT
－JIMTOF2016に見るものづくり技術の進化－」
開催日：平成28年12月7日
於：東京理科大学 葛飾キャンパス
- (19) 公益社団法人応用物理学会 光波センシング技術研究会
「第58回光波センシング技術研究会
－微弱光計測－」

開催日：平成28年12月8日～9日

於：東京理科大学 神楽坂キャンパス 森戸記念館

(20) 一般社団法人 日本光学会

「第43回冬期講習会 ヘルスケア計測技術の現状と展望」

開催日：平成29年1月20日

於：東京大学 本郷キャンパス 山上会館

(21) 一般社団法人カメラ映像機器工業会

「CP+2016 Camera & Photo Imaging Show」

開催日：平成29年2月23日～26日

於：パシフィコ横浜 展示ホール&アネックスホール&会議センター

(22) 一般社団法人日本光学会，独立行政法人日本学術振興会 光エレクトロニクス第130委員会，一般社団法人レーザー学会，公益社団法人応用物理学会 フォトニクス分科会

「第1回「光の日」合同シンポジウム」

開催日：平成29年3月8日

於：筑波大学 東京キャンパス文京校舎

6.2 全国光学工業厚生年金基金解散問題

標記基金は、昭和46年4月1日光学工業関連7つの工業会に属する事業所を設立母体として発足した団体である。当協会及び職員は、当該年金基金に加盟しており、同基金は、国の代行業務である厚生年金基金の積み立てと、退職後（老後）の年金積立とその支払いを業として行ってきた。

同基金は、AIJ投資顧問事件の被害に遭い、財政状態が極端に悪化したことから、平成25年2月の同基金の代議員会（最高議決機関）において、「解散に向けた活動を行う」ことが議決・承認され、平成25年度は解散に向けた諸調査を実施してきた結果、平成26年6月25日に厚生労働大臣に対し解散申請を行った。

平成26年7月30日付で厚生労働大臣から解散認可書が交付された。

同年金基金が行っていた“年金代行”事業の積立不足額は、平成28年7月6日付けで1,146,469円の確定通知があり、翌月に一括精算した。

なお、当基金には、財産目録承認後にAIJ投資顧問事件による投資被害資産の回収に係る分配金が20,156,511円あり、この額については解散時の基金規約に基づき、各設立事業所が負担する解散時不足金の負担割合に応じて分配することになった。当協会の配分割合は0.12869%で分配額は25,939円となり平成29年2月に振り込まれた。

これをもって、全国光学工業厚生年金基金解散問題は終了した。

Ⅱ 会 務 報 告

1. 会 員

1.1 会員の異動

(1) 入 会

○賛助会員

テルモ株式会社 甲府東工場

設備・金型 (DM・ヘルスケア) 課長代理 大黒谷 篤

(入会届書受理日)

平成28年8月22日

(2) 退 会

○正会員

アルプス電気株式会社

技術本部 第一商品開発部 部長 星 敏行

(退会届書受理日)

平成29年2月15日

○賛助会員

並木精密宝石株式会社

湯沢事業部 Dia統括 曾田英雄

(退会届書受理日)

平成29年3月28日

1.2 平成29年3月31日会員数

正会員 29社 賛助会員 9社 計38社

2. 役 員

平成28年5月をもって役員の任期が満了したので、平成28年5月17日の定時社員総会において、理事及び監事の選任を行った。また、定時社員総会后、平成28年度第2回理事会を開催し、会長、副会長、業務執行理事、理事を互選した。

平成29年3月31日現在の役員は、次の通りである。

| | | | |
|------------|-------|-------------|-----------------------------|
| 会 長 (代表理事) | 鈴木 洋 | HOYA株式会社 | 取締役 代表執行役 最高経営責任者 |
| 副会長 (代表理事) | 澤口茂之 | 株式会社トプコン | 社長補佐 品質保証本部長 |
| 業務執行理事 | 野村 博 | HOYA株式会社 | オブティクス事業部 光学製品開発統括部 部長 |
| 理 事 | 腰塚國博 | コニカミノルタ株式会社 | 取締役 常務執行役 技術、開発統括本部 担当 |
| 〃 | 小川治男 | オリンパス株式会社 | 取締役専務執行役員 技術統括役員 兼 技術開発部門長 |
| 〃 | 大木裕史 | 株式会社ニコン | 取締役 兼 常務執行役員 コアテクノロジー本部長 |
| 〃 | 海老沼隆一 | キヤノン株式会社 | 常務執行役員 R&D本部 副本部長 |
| 〃 | 吉岡正樹 | ウシオ電機株式会社 | 取締役役員 R&D本部長 |
| 〃 | 坂上好功 | 株式会社リコー | 執行役員 リコーICT研究所 所長 |
| 〃 | 福間康文 | 株式会社トプコン | 取締役 兼 執行役員 技術本部長 |
| 監 事 | 康本 真 | 株式会社シグマ | 常務取締役 経営企画本部長 |
| 〃 | 古川清二 | 税理士法人ビランツ | 税理士 |

3. 顧 問

平成29年3月31日現在の顧問は、次の通りである。

顧 問 一 岡 芳 樹 大阪大学名誉教授

- 〃 岩 居 文 雄 東京工芸大学 理事長（元会長）
- 〃 河 西 敏 雄 埼玉大学名誉教授
- 〃 辻 内 順 平 東京工業大学名誉教授

（アイウエオ順）

4. 協会事務局体制の現況

協会事務職員は、事務局長兼技術部長1名、セミナー実施、雑誌発行、経理事務のための嘱託職員3名であるが、現在経理事務担当者の引継ぎ業務を行っているため5名となっている。

5. 会 議

5.1 定時社員総会

平成28年5月17日、平成28年度定時社員総会を東京都港区の機械振興会館で開催し、次の議案を審議し議決した。

審議事項

- 1) 平成27年度事業報告書、決算報告書及び財産目録の承認の件
（同報告書等に関する監事の監査報告）
- 2) 平成27年度内閣府に提出する公益目的支出計画実施報告書の承認の件
- 3) 役員を選任について

報告事項

平成28年度事業計画書及び収支予算書について

5.2 理事会

- (1) 平成28年4月27日、平成28年度第1回理事会（書面審議）において、平成27年度事業報告書（案）及び決算報告書（案）、貸借対照表・正味財産増減計算書・財産目録等決算書（案）、公益目的支出計画実施報告書（案）、役員候補者、会長等選任方法、顧問委嘱、平成28年度定時社員総会開催及び定時社員総会後の第2回理事会の開催について承認された。
- (2) 平成28年5月17日、定時社員総会で選出された役員で平成28年度第2回理事会を機械振興会館で開催し、会長・副会長・業務執行理事・理事の選任が行われた。また、平成29年度創立30周年記念行事について承認された。
- (3) 平成28年8月24日、平成28年度第3回理事会（書面審議）において、テルモ株式会社 甲府東工場からの賛助会員加入の申請について承認された。
- (4) 平成28年10月27日、平成28年度第4回理事会を機械振興会館で開催し、本年度上期の運営状況について、現時点での収入合計は平成28年度予算額に対して5,353,509円増額となる見込みであるため厚生年金基金代行不足金の1,146,469円（予算額：1,350,000円（推定））は事業活性化資金から取り崩さなくても運営上問題ないことが報告され承認された。また、平成29年度創立30周年記念行事については1,300,000円前後の支出（案）及び同記念表彰規程について承認された。
- (5) 平成29年3月22日、平成28年度第5回理事会を機械振興会館別館で開催し、平成28年度事業報告書(案)及び決算報告書(暫定版)、平成29年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)、事業活動費の一部を事業活性化資産へ振替(案)についての議題報告があり承認された。

5.3 企画運営委員会

（委員長・野村 博：HOYA(株) オプティクス事業部 光学製品開発統括部 部長）

協会運営に関し、理事会等を補佐するものとし、協会運営上必要な企画等について審議する企画

運営委員会を本年度は計6回開催した。

5.4 財務運営委員会

(委員長・野村 博：HOYA(株) オプティクス事業部 光学製品開発統括部 部長)

財務運営委員会には、事務局より協会運営に関し、協会の事業資金の動向について報告を行った。

5.5 人材育成委員会等

① 人材育成委員会

(委員長・宮前 博：チームオプト(株))

既存の人材育成事業の見直し及び新規技術講座とセミナーについて検討する委員会を本年度は計12回開催した。なお、主な検討内容は下記のとおりである。

1) 第1回人材育成委員会

- ・平成28年度「2016 光応用技術研修会」新規科目のテキスト原稿の査読について
- ・平成28年度 新設技術講座及び公開セミナーのテーマについて
- ・人材育成事業の調査結果に対する対応について

2) 第2回人材育成委員会

- ・平成28年度 新設技術講座及び公開セミナーのテーマについて
- ・「やさしくわかる デジタル画像（認識）技術」講座（仮称）について

3) 第3回人材育成委員会

- ・平成28年度「2016 光応用技術研修会」新規科目の講義内容等の感想について
- ・平成28年度 公開セミナーのテーマについて
- ・平成29年度 新設技術講座及び公開セミナーのテーマについて

4) 第4回人材育成委員会

- ・平成28年度新設「図解による波動光学入門」技術講座のテキスト原稿（案）について
- ・平成28年度 公開セミナーのテーマについて
- ・平成29年度 新設技術講座及び公開セミナーのテーマについて

5) 第5回人材育成委員会

- ・平成28年度「2017 光応用技術研修会」の「結像の評価とOTF」（仮）の講義内容について
- ・平成28年度 公開セミナーのテーマについて
- ・平成29年度 新設技術講座及び公開セミナーのテーマについて

6) 第6回人材育成委員会

- ・平成28年度「自動運転を支える画像と認識の技術」公開セミナーの進捗状況及び参加費について
- ・平成29年度 新設技術講座及び公開セミナーのテーマについて
- ・平成29年度 人材育成事業の開催（案）について
- ・平成28年度「コンピューターショナルイメージング」アンケート結果について
- ・平成28年度「2016 光応用技術研修会」アンケート結果について

7) 第7回人材育成委員会

- ・平成28年度「奥行き知覚と立体表示」セミナー アンケート結果について
- ・平成29年度 新設技術講座及び公開セミナーのテーマについて
- ・平成29年度「コンピューターショナルイメージング」技術講座の講義時間について
- ・平成29年度「2017 光応用技術研修会」について

8) 第8回人材育成委員会

- ・平成28年度「奥行き知覚と立体表示」セミナー アンケート結果について
- ・平成28年度「光散乱の現象と解析」技術講座 アンケート結果について
- ・平成29年度「コンピューテーショナルイメージング」技術講座の講義時間について
- ・平成29年度 新設技術講座及び公開セミナーのテーマについて
- ・平成28年度「2016 光応用技術研修会」報告書&模範解答について

9) 第9回人材育成委員会

- ・平成28年度「図解による波動光学入門」技術講座内容について検討
- ・平成29年度以降の新設技術講座及び公開セミナーの内容について
- ・平成29年度「コンピューテーショナルイメージング」技術講座の講義時間延長について
- ・平成29年度「2017 光応用技術研修会」の「光散乱」講義時間延長、「干渉と回折」のテキスト原稿、「色彩工学」の講師交代について
- ・平成29年度「色彩工学」技術講座の講師交代について
- ・平成29年度実施予定の技術講座等の確認、及び「図解による光学入門」技術講座の参加費の確認について

10) 第10回人材育成委員会

- ・平成29年度実施予定の新設技術講座及び公開セミナーの内容について
- ・各技術講座パンフレットの受講レベルの表記について

11) 第11回人材育成委員会

- ・平成29年度実施予定の新設技術講座及び公開セミナーの内容について

12) 第12回人材育成委員会

- ・平成29年度実施予定の新設技術講座及び公開セミナーの内容について
- ・平成29年度「2017 光応用技術研修会」テキスト原稿の査読について

② 眼光学チュートリアルセミナー実行委員会

- ・平成28年度実施に向けた講義内容の重複の整理およびテキスト原稿の査読を行う為の実行委員会を平成28年6月11日に開催した。
- ・平成29年度実施に向けたカリキュラムおよび講義内容を検討する為の実行委員会を平成28年12月17日に開催した。

5.6 技術広報委員会

(委員長・山口一郎：理化学研究所名誉研究員)

平成28年4月27日に平成28年度の技術広報委員会を開催し、光技術コンタクト誌の平成28年11月号までの特集企画を確認した後、12月号から平成29年11月号までの特集を企画した。

なお、平成28年度の特集企画は下記のとおりである。かつこ内はコーディネータ

平成28年 (2016年 Vol.54)

4月号 プラズマ (加工) とその応用技術の現状と将来動向

(土肥俊郎：九州大学)

(松田裕之：コニカミノルタ)

5月号 新しい位置座標測定技術

(松本弘一：東京大学)

(鈴木逸人：ニコン)

6月号 手術支援ロボット・新しい内視鏡技術

(須田篤史：日本航空電子工業)

(土肥俊郎：九州大学)

- 7月号 環境モニタリングとセンシング技術の最前線
(増田浩二：リコー)
(山下真司：東京大学)
- 8月号 新しい光学技術 – 生体とダイヤモンドにフォーカス –
(土肥俊郎：九州大学)
(津村徳道：千葉大学)
- 9月号 光学設計のあれこれ (5)
(草川 徹：草川光学研究所)
(加藤 茂：オリンパス)
- 10月号 ナノメートル、ピコメートル計測と加工
(松本弘一：東京大学)
(銚井逸人：ニコン)
- 11月号 メタマテリアル
(山下真司：東京大学)
(山口一郎：理化学研究所名誉研究員)
- 12月号 防災とオプトメカトロニクス
(加藤 茂：オリンパス)
(津村徳道：千葉大学)
- 平成 29 年 (2017 年 Vol.55)
- 1月号 オプトメカトロニクスにかける夢
(山口一郎：理化学研究所名誉研究員)
(松本弘一：東京大学)
- 2月号 超微粒子のキャラクタリゼーションとその応用
(金岡政彦：ニコン)
(土肥俊郎：九州大学)
- 3月号 巨大スケールの光計測
(松本弘一：東京大学)
(山下真司：東京大学)

6. 平成28年度事業実施状況

平成28年度事業実施状況

一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会

平成29年3月31日 現在

| 項目 | | 月 別 | | | | | | | | | | | |
|--------------------|---------------------------------------|---|---|--|--|---|--|--|--|---|--|-------------------------------|--------------------|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 社員総会 | | | 17(火) | | | | | | | | | | |
| 理事会 | | 書面 27(水) | 17(火) | | | 書面 24(水) | | 27(木) | | | | | 22(水) |
| 監事監査 | | 19(火) | | | | | | | | | | | |
| 委員会 | 企画運営委員会 | 26(火) | | 27(月) | | 29(月) | | 13(木) | | 15(木) | | 22(水) | |
| | 財務運営委員会 | | 12(木) | | | | | 13(木) | | | | 22(水) | |
| | 調査研究委員会 | | | | | | | | | | | | |
| | 人材育成委員会 技術広報委員会 (含:光技術ンク外編集委員会) | 26(火) 27(水) | 24(火) | 21(火) | 19(火) | 25(木) | 23(金) | 28(金) | 24(木) | 20(火) | 17(火) | 21(火) | 16(木) |
| 技術部会 〔〕は 幹事会 | 光センシング技術部会 登録企業数 8社 | | | 10(金) 《13人・8社》 | | | 20(火) 研修会 《10人・9社》 | | | 22(木) 《5人・5社》 | | 28(火) 《7人・6社》 | |
| | デジタル・イメージング技術部会 登録企業数 7社 | 11(月) 《21人・6社》 | | | 5(火) 研修会 《5人・2社》 | | | | | 1(木) 《20人・7社》 | | | 7(火) 《10人・6社》 |
| | 光部品生産技術部会 登録企業数14社 | 11(月) 《30人・16社》 | | | 26(火) 《8人・5社》 | | | | 1(火) 研修会 《10人・4社》 | | 23(月) 《9人・5社》 [23(月)] | | |
| | 光学系設計技術部会 登録企業数 21社 | | | 30(木) 《13人・9社》 | | | | 11(火) 研修会 《10人・6社》 | | 16(金) 《15人・10社》 | [31(火)] | | 13(月) 《23人・12社》 |
| | フロンテックロジー技術部会 登録企業数 9社 | | | 15(水) 《14人・8社》 | | | 6(火) 研修会 《9人・8社》 | | | 6(火) 《6人・5社》 | | | 10(金) 《8人・6社》 |
| 講演会・ セミナー等 | 眼光学チュートリアルセミナー | | | 11(土) 実行委員会 | | (土～日) 6～7 《114人・83社》 | | | | 17(土) 実行委員会 | | | |
| 人材育成 | 技術研修会 | | (火～金) 31～ 3. 6～8 光応用 《70人・20社》 | (木～金) 7～8 光応用テスト 《63人・18社》 | | | | | (火～木) 25～27 光学素子加工技術入門 《25人・17社》 | (水～木) 7～8 光学薄膜技術 《17人・13社》 | 13(金) 現代干渉計測入門 《23人・14社》 | 23(木) 領域の光学入門 《17人・14社》 | |
| | 技術講座・セミナー | (木～金) 21～22 デジタル画像基礎技術 《7人・5社》 | 29(水) 相関とフーリエ変換で理解できる光学機器 《26人・13社》 | 13(水) 6～7 よくわかる LEDと半導体レーザーの基礎と応用 《17人・12社》 | (木～金) 17(木) 20～21 レンズ設計法 《23人・13社》 | (水～木) 20～21 よくわかる 図解カメラのしくみ 《10人・7社》 | (すべて水) 5. 19. 2. 16. 30 取 差 論 《15人・10社》 | (火～木) 25～27 図解による光学入門 光散乱の現象と解析 《22人・16社》 《34人・18社》 | (水～木) 7～8 図解による光学入門 光散乱の現象と解析 《22人・16社》 《34人・18社》 | (すべて水) 11. 18. 25. 1 光学系基礎理論 《17人・12社》 | デジタルカラー画像の解析・評価 《13人・10社》 | | |
| | | | 17(金) 20～21 よくわかる 図解カメラのしくみ 《10人・7社》 | 22(金) 図解による波動光学入門 《7人・6社》 | 9(金) コンピュータショナルイメージング 《36人・16社》 | (月～火) 14～15 ズームレンズ設計法 《12人・7社》 | | | 14(水) 偏心 《15人・10社》 | 13(火) 色彩工学 《19人・12社》 | 24(火) 図解による顕微鏡入門 《17人・11社》 | | |
| | | | | | | | 20(木) 奥行き知覚と立体表示 《36人・26社》 | | | | 20(金) 自動運転を支える画像と認識の技術 《17人・12社》 | | |
| その他 | | 18(水)～20(金) レンズ設計・製造展 | | | | | | | 7(月)～9(水) ISOT国際会議 15(火)～17(木) 科学技術フェア | | | | |

※ 技術部会、講演会等、人材育成の《 》内は参加者数・参加企業数である。